

地域の持続可能で多様なスポーツ環境を！

岩手県広域スポーツセンター 活動報告

部活動の地域移行を検討する中、地域における新たなスポーツ環境のあり方・実施主体のひとつとして想定されているのが、総合型地域スポーツクラブです。そのクラブ創設や運営の支援を行っている岩手県広域スポーツセンターの活動を紹介します。

岩手県広域スポーツセンターについて

広域スポーツセンターとは、各都道府県において広域市町村圏内の総合型地域スポーツクラブの創設や運営、活動とともに、県内におけるスポーツ活動全般について、効率的な支援を行う役割を担うものです。

岩手県広域スポーツセンターは、公益財団法人岩手県体育協会内に設置され、専任指導員が配置されています。県内の総合型地域スポーツクラブの創設・育成に関する支援や、クラブマネージャー・アシスタントマネージャー・指導者の育成に関する支援を行っています。

さらに、広域スポーツセンターホームページにおいてスポーツリーダー（スポーツ指導者）・スポーツボランティアの登録者と指導を希望するスポーツクラブや団体・地域とのマッチング情報も提供しています。

広域スポーツセンターの事業について

主な事業としては行政訪問・クラブ巡回指導や、年に2回のクラブ運営研修会を行っています。令和5年2月現在、全33市町村のうち12行政（教育委員会又は首長部局）と46総合型地域スポーツクラブ・2設立準備中クラブを訪問し現状について伺いました。

運営研修会は令和4年5月と同年12月に実施しました。第1回の運営研修会は、5月7日（土）に宮古市民総合体育館において「東京2020パラリンピック・ポッチャ日本代表監督 村上 光輝氏」を講師にお迎えしパラスポーツ実技「ポッチャ体験」をはじめパラスポーツについて理解を深めました。第2回運営研修会は12月10日（土）に

岩手県営武道館を会場に岐阜県（一社）スポーツリンク白川：クラブマネージャー渡辺康代氏を講師にお迎えし「総合型クラブ運営と休日の運動部活動の地域移行事例」について、富山県の（公財）魚津市体育協会うおづスポラ運営委員長澤田樹孝氏に「市町村体育協会が運営する総合型地域スポーツクラブの事例」について伺いました。また、午後からはシンポジウムの後に、ニュースポーツ「モルック」を（一社）日本モルック協会公認大野☆ドリーム代表 村田昌之・日影浩也両氏にご指導いただきました。

県内の総合型地域スポーツクラブについて

総合型地域スポーツクラブは、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

岩手県では令和4年度7月現在33市町村のうち28市町村に創設準備中を含む58のクラブがあり、その中には今年度新規にスタートした2つのクラブもあります。その反面、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い十分な活動ができていないクラブや、運営資金を十分に確保できず思うような活動ができていない休止中のクラブもあります。また、令和4年度からスタートした総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度への取り組み支援も行っています。今年度は申請のありました25クラブについて全国協議会に登録認定リストを提出し、11月1日付で予備登録クラブとなりました。

地域住民のニーズを踏まえて創設された個々の総合型地域スポーツクラブが、継続的かつ安定的に運営されるためには、多くの課題を解決する必要がありますが、これらの課題の中には、個々の総合型地域スポーツクラブだけでは解決できないものも少なくありません。課題の解決に向けて、今後も支援していきたいと考えています。



●講演「スポーツリンク白川 渡辺康代氏」



●ニュースポーツ「モルック」実技研修